

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>き流してしまうようなコマーシャルよりはPR効果が期待できる。そう言う点で「南陽産」にこだわるべきと思うが、何点かお伺いする。</p> <p>① 多量の申し込みの対処は、今後の対応はなされているのか。</p> <p>② 各返礼品の品質確認の方法は。また、受付完了後に不足が生じた場合は返金するのか、あるいは代替品への交渉などはするのか。</p> <p>③ 決済の方法が多様化しているが、クレジット決済等の導入を検討しているのか。</p> <p>④ 今年度以降の取組む姿勢について、また、農産物等の準備対応については。</p>	市 長 関 係 課 長
2	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 人が集まり賑わうまちづくりとしての観光 観光の語源は「国の光を観る」で景観そのものです。お客さんだけでなく住民も誇りに思う景観こそが財産です。「住みよいまちこそ訪れたいまち」を基本に「ふるさと南陽」を再生・創生する観点で議論したいと思います。</p> <p>裾野の広い観光産業の発展には、景観整備とおもてなしが両輪であることは言うまでもありません。それらを本格的に持続可能なものとするためには、※ロハスな意識を持ち市民全体で盛り上げていくことが肝要です。</p> <p>また、観光産業の経済波及効果を産業連関表により具体的に測定することで市施策の根拠を明確にし、観光の恩恵を受ける市民のモチベーションを高揚させ、事業や施設設備投資へと積極的に結びつくものと考えます。</p> <p>地方版総合戦略策定や本市第5次総合計画の来年度後期計画策定に鑑み、以下の具体について市長の考えをお伺いします。</p> <p>(1) 観光資源の整備と活用</p> <p>① 烏帽子山公園、双松公園、花公園</p> <p>ア 桜を毎年きれいに咲かせるための方策は。今のやり</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>方で本当にいいのか。桜の木は悲鳴をあげていないか。新たな植樹は。</p> <p>イ もみじ、アーモンドなど桜以外の木もメディアで取り上げてPR</p> <p>② 未来に伝える南陽の宝の再発見と活用</p> <p>ア 山形の宝に選ばれた白竜湖、新田堤、びっき石の整備と活用策は。</p> <p>イ 白竜湖をへらぶな釣りのメッカとして復活させる。</p> <p>ウ 遺跡や寺社マップづくり</p> <p>③ 誘客用看板の設置</p> <p>ア 東北中央道（仮）南陽高畠IC付近への観光大看板</p> <p>イ ハイジアパーク南陽の看板のリニューアル</p> <p>④ 南陽の菊まつりの活性化策</p> <p>ア 会場は双松公園に復活</p> <p>イ 菊づくりの後継者育成</p> <p>⑤ 文化会館利用者</p> <p>ア ご利用客の食事の提供と宿泊誘致策は</p> <p>イ 内覧会は平日の設定も</p> <p>ウ 市内利用者の交通手段の確保は</p> <p>⑥ 赤湯温泉の特長を市民と観光客へPR</p> <p>ア 脳神経の活性化に良いといわれるリチウムイオンが豊富な赤湯温泉は飲泉もできる珍しい温泉であることを内外に宣伝。</p> <p>イ 上杉鷹山公、細井平洲、結城豊太郎先生もこよなく愛した赤湯温泉とリチウムイオン効果のコラボ演出でよりバージョンアップを。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>ウ 温泉健康アドバイザーの育成と支援により、上記ア、イを担い推進。</p> <p>⑦ 南陽市観光協会の充実強化 上記の活性化施策を推進するには、受け皿としての観光協会の充実強化のための支援が必要。</p> <p>(2) 滞在型観光へのアプローチ</p> <p>① スカイパークにオートキャンプ場を開設</p> <p>② 農業・林業体験型家族旅行や修学旅行の企画</p> <p>③ ロハスフェスタの誘致</p> <p>④ 新しい湯治一病院連携による人間ドッグ</p> <p>(3) 観光経済波及効果の測定と活用</p> <p>① 本市の観光客数の過去5年間の推移とこれからの見通し</p> <p>② 産業連関表を活用した観光経済波及効果の測定の実施</p> <p>※ロハス：Lifestyles of Health and Sustainability 頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル「LOHAS」ロハスのこと。環境にやさしいライフスタイルを心掛ける。商品の選択をする場合、価格よりも性能が良い、環境に優しい、デザインが良いが判断の大切なポイントと考える。予防医学・代替医療を心掛け、なるべく薬に頼らない。例えば、運動、食育、医学についても気に掛けているなど。持続可能な経済の実現を願う。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、(1)、(2)、(3)… ①、②、③…	答 弁 を 求める者
3	5 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>1. 南陽市（本市）の建設業の現状について</p> <p>(1) 災害対応に係る市内建設業界の体制強化について</p> <p>① 市内建設業において同一会社が市発注事業と県が発注する事業の受注において人材不足での人員配置や工期内完成に及ぼす影響があると思われるが、現状はどうか伺う。</p> <p>② 河川等の工事発注などは、渇水期での冬季施工が通常ですが、ややもすれば人材不足での工期の延長や年度繰越しの施工となる場合も想定されます。冬季間の工事発注、また、業者選定（指名）など、発注者側としてどのような対応を考えているか伺う。</p> <p>(2) 技術者及び特殊作業員、女性登用などの人材確保や教育養成の助成について</p> <p>① 今の時代において、建設業界（社）では技術者を一から育てていける余裕が無いのが実情と思います。すなわち即戦力となる人材の確保が必要となっている。そのため業者の大小に関わらず世代交代がスムーズにいかない。このような状況を考えた時、市として何らかのテコ入れが必要となると思います。県事業で建設業の若手や女性支援のために新たな「建設産業若年従業者育成支援事業」に乗り出すとのことですが、その内容など検討し、市独自の支援策も検討すべきと考えますが当局の考えを伺います。</p> <p>2. 教育現場の安全管理について</p> <p>(1) 近年、子どもたちに関する痛ましい事件が全国的に大きな社会問題となっている。不審者が校舎に侵入し、子どもや教職員の安全が脅かされたり危害を与えられるような事件、また、通学路では不審者から声をかけられたり、傷つけられたりする事件など心配の種は尽きません。学校、教育現場の安全管理についてはどのように対応されているのか伺います。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 教 育 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	5 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>① 子どもたちも、関する事件についてテレビニュースや親の会話などから感じとってはいると思いますが、子どもが事件に遭う報道などに教育現場、教師はどのような対応をするのか。また、そのような事件に対応するマニュアルなどあるのか伺います。</p> <p>② 幼稚園、保育園も含め小中学校の防犯設備についての状況や、現在の対応及び整備されていない施設の今後の予定などはあるか伺う。</p> <p>③ 子どもたちが犯罪に巻き込まれないための安全に活動できる環境作りが大切と思うが、夜間や休日での管理体制はどのようになっているのか伺います。</p> <p>3. がん対策の取り組みについて がん検診率アップとリスク検診について</p> <p>(1) 本市において、各がん検診率は目標とする値に対し、どのような状況になっているのか。また、検診率をどう向上させていくのか取り組みを伺います。</p> <p>(2) ABC検診についての取り組み、周知について伺う。 胃がんの原因、要素のひとつにピロリ菌が影響しているとの説もあり、ピロリ菌の有無を調べるリスク検診を特定健診とセットにして実施できないか。また、検診を受ける際の費用の一部助成を検討していただきたいと思いますが、当局の考えを伺います。</p> <p>(3) 25年6月定例会でも質問させていただきましたが、がん教育の必要性について、中学校などでも教育のひとつとして、過度の飲酒や喫煙などのリスクを理解してもらうことも必要と思います。そのことによる教育現場での取り組みなどについて伺います。(未成年者の飲酒、喫煙の防止措置として)</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長 市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 豪雨災害に対する市民の不安払拭について</p> <p>(1) 吉野川、織機川の復旧工事は急ピッチで進んでおりますが、川の流下能力を向上のための河道拡幅、川底の掘削、築堤、道路の嵩上げ、橋の架替等は織機川が28年、吉野川が29年までの計画となっております。また、織機川の砂防関連については36年までの10年間を要する計画であります。</p> <p>このように、治水事業は不安な部分を残して魔の7月を迎えようとしております。上流部の川沿いや支流、山の沢周辺、或いは山中には、昨年の水害や大雪の影響で多くの倒木や土砂崩れ箇所も多く、豪雨になればまたもや大災害に結びつく可能性があります。</p> <p>本市だけの問題でなく、県の事業が大部分であります。国・県・市が一体となって取り組み、安全で安心な南陽市を築いていくことが必要です。そして、常態化する豪雨災害への市民の不安を払拭していくことが行政に求められております。</p> <p>そのような観点から、次の三点についてお伺い致します。</p> <p>① 吉野川、織機川流域の復旧工事は梅雨時期までに治水機能を復旧できるよう進めるとしてありますが、予定通り工事が完成するのか、その見通しについてお伺い致します。</p> <p>② 吉野川、織機川上流部の川沿いや支流、沢周辺、山中に倒木が多く、また、土砂崩れ箇所も多い状況にありますが、災害を未然に防ぐために、どのような対策をお考えかお伺い致します。</p> <p>③ 今後の治山対策・川上対策をどのようにお考えなのかお伺い致します。</p>	市 長 関 係 課 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	15番 佐藤明議員	<p>1. 国民健康保険制度について</p> <p>(1) 参院厚生労働委員会で審議中の医療保険制度改正案について、安倍内閣と与党が採択の動きを強めております。全国で約3,500万人が加入する国民健康保険（国保）制度の大改変などを柱にした法案は、国民の健康と暮らしに大きな影響を与えるものです。国会審議を通じて、新たな負担増の深刻さ、安全性が不確かな医療の拡大の危険などが浮き彫りになっています。いつでもどこでも、だれもが安心して医療にかかる「国民皆保険」を揺るがす法案の危険はいよいよ明らかであります。このまま採決を強行することは許されるものではありません。制度改正について市長のご見解は。</p> <p>(2) 改正法案は「制度発足以来の大改革」などとして国保の財政運営を市町村から都道府県に移すことを目玉にしていますが、とても「改革」とはいえない中身であります。それどころか「都道府県化」は、市町村が独自に決めていた保険税を「平準化」させることなどを通じて、住民に保険税の負担増や、保険税徴収の強化をもたらす仕組みになっています。都道府県に「医療費抑制」を強引にすすめる計画をつくらせる司令塔の役割まで担わせようとしています。高すぎる国保税が払えず滞納世帯が続出している「国保の構造的危機」を解決するには「都道府県化」は逆行そのものです。全国知事会は、保険税引下げのため「1兆円の国費投入」を要望しています。これを実現するならば国保加入者1人当たり3万円の保険税軽減できることが国会でも明らかになりました。「大改革」というなら、そういう決断をして、住民の切実な願いにこそこたえるべきです。国保の財政運営を市町村から「都道府県」に移すことを目玉にしていますが、改めて市長のご見解を伺います。</p> <p>(3) 改正案に盛り込んだ入院給食費の患者負担は、受診抑制を広げる危険があります。いまも入院で仕事ができなくなり収入が減ることを案じ、必要な入院にも二の足を踏む患者が少なくありません。給食費負担増が深刻な事態に拍車をかけるのは必至であります。在宅治療ができないから入院し、治療の一環として病院の栄養管理のも</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	1 5 番 佐 藤 明 議 員	<p>とで出されている給食は、家での食事と全く違うもの あります。在宅との「公平のため」といって値上げする こと自体、筋違いと言わざるを得ません。どの程度の患 者負担となるのかお伺いします。</p> <p>(4) 滞納世帯数、率、資格証明書交付世帯数、短期保険証 交付世帯数は。差し押えの件数、金額等は。</p> <p>(5) 「法定外繰入」の考えは。</p> <p>(6) 地方3団体との合意では「公費拡充等による財政基盤 の強化」として毎年、国による3,400億円の財政支 援策が確認されました。その事による支援額配分はどの 程度見込んでいるのか。</p>	市 長 関係課長
6	1 1 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 市政全般について 白岩市長就任から10か月、今年度の施政方針である、 「対話のある市政」「身の丈にあった市政」を基本姿勢に「 子どもを産み育てやすいまち」・「年をとっても安心して暮 らせるまち」・「人が集まり賑わうまち」の実現に向け、第 5次総合計画の柱である「教育」「産業」「健康」のまちづ くりに取り組みられています。それらの施策についてお伺 いします。</p> <p>(1) この4月から中央公民館の廃止とともに、公民館に館 長代理として配置されていた市職員を引き揚げ、嘱託職 員が採用されました。</p> <p>4年前の市職員の配置は、地区公民館活動の一層の充 実を図り、積極的に実践的まちづくりを推進するため。 あわせて、職員が地域の方たちと協同のまちづくりや地 域の活性化に取り組むことで、職員自身のスキルを高め ることができるとの人材育成の観点でもありました。</p> <p>① このたびの職員引き揚げは、それら4年間を検証した うえでのことなのか、引き揚げた要因などお伺いします。</p> <p>② 市長の基本姿勢から考えると嘱託職員として働いてい</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	11番板垣致江子議員	<p>ただいている方々の待遇の改善も必要ではないのか。嘱託職員は職員と同じ質と量の仕事をこなしているのではないのか。市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(2) 地区公民館は、地域住民にとってより身近な社会教育施設であり、生涯学習の場として、コミュニケーションの場として大変重要なところ。このたびの市民会館の閉鎖により、えくぼプラザに赤湯公民館が移動しました。えくぼプラザと赤湯公民館を利用していた団体が多数となり、調整はしていただきましたが、その影響は他の公民館にもおよんでいるようです。</p> <p>① 会場予約や手続きなど、地域の公民館の特性ややり方を尊重するのか、一律の規則や方向性を統一厳守させるのか。お伺いします。</p> <p>② 社会教育の観点からも、文化会館の会議室や練習室など市民に大いに利用してもらいたいのだが、減免はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) 厚生労働省では平成21年から「ひきこもり対策推進事業」を創設し、平成25年からは「ひきこもりサポーター養成研修事業」を各都道府県でおこなっており、サポーターを市町村へ派遣、訪問支援を行うということです。南陽市でも昨年の実態調査で87名がひきこもり状態にあり、うち10名が15才～19才の若者という、非常に深刻な状況にあります。本人や家族が地域の中でどこに相談したらよいのか明確にしていく必要があると思います。</p> <p>① 南陽市ではどのような支援や対策が取られてきたのか。また今後の取り組みはどのように考えているのかお伺いします。特に15才～19才は不登校対策からの取り組みが必要と考えます。ひきこもりの若者を作らないためにも相談体制の強化などのお考えをお伺いします。</p> <p>(4) 市長が一番に掲げる「対話のある市政」について 就任からの10か月の状況や成果、また今後のお考えをお伺いします。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p> <p>市 長</p>

